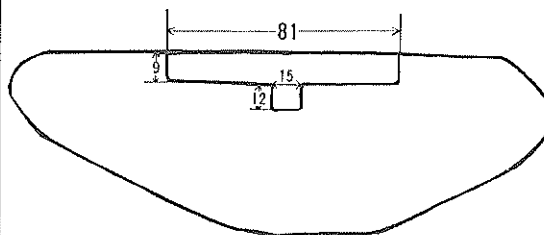


史跡・文化財めぐり④ （比江廃寺塔跡）

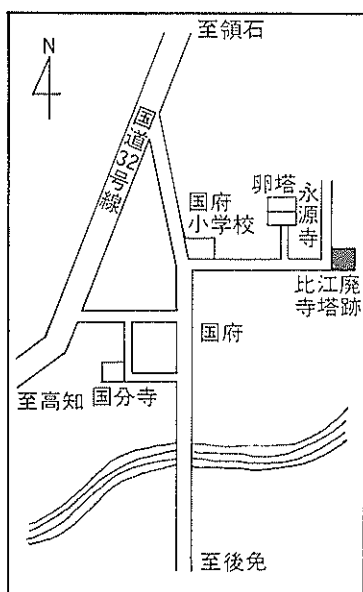


比江廃寺伽藍塔像図

塔の心礎の大きさ（単位cm）



五重の塔の高さは
32.4mと推定される



比江の土居屋敷に、一つの大きな礎石がある。比江廃寺塔の礎石であり、国の指定の史跡である。礎石には2段の円い穴があり、その穴に仏舍利がおさめられていたもので、その上に五重の塔が傑作をほこって建っていたものと思われる。

昔このあたりに、道源寺と呼ぶ寺院があったという。その礎石かどうかはわからないが、かなり大きな寺であったらしく、当時の豪族により建設されたものである。

広報 **なんこく**

8/151975 No.201

編集・発行／南国市広報委員会

疑わしきは食べさせず

論議呼ぶリジン入りパン

新学期から解決か

(市教委) 国・県へ強力な要請

疑わしきは食べさせず——。学校給食のパンに添加されているリジンに発ガン性の物質が含まれているとして、パン給食の拒否が全国的な問題になっている。

市の久礼田小でも父兄の要望で、パンをやめ弁当持参に切り替えてきたが、新学期から、リジン抜きパン給食が、できるかどうか注目されている。

久礼田小で

弁当持参

「少しでも疑惑のあるパンを子供に食べさせたくない」——学校給食のパンに添加されているリジンに発ガン性物質が含まれていることが全国的な問題になっている。

リジンは必須アミノ酸の一種で児童の体格、体力を向上させる効果があるとして全国の小中学校の給食用パンに添加されていますが、市の久礼田小学校が、父兄の要望で給食用パンをやめ弁当持参を認

めたほか、土佐山田町や土佐町でも弁当持参を始めた小学校がでてきます。

久礼田小では、リジン入りパンが問題になって以来、同校PTA(岡澤之会長、二〇一人)では、「あぶないパンを子供に食べさせたくない。弁当を持たずの給食は副食にしてほしい」との声が強く出ました。このため学校でも六月二十四日、児童に対して口頭で「家の人が希望するなら弁当を持参してもよい」と伝えました。そして翌日の二十五日から弁当持参

で登校をはじめ、登校した二百七十一人中、九十三名の二百五十二人が弁当を持参。しかし学校としては「完全給食がたてまえであるし、このままだと父兄の負担も大きい」として市教委とも検討して、六月三十日から、リジン抜き小麦粉入りのメドがつくまで米飯にしました。市教委では県教委に対して二学期からリジン抜きの給食パンにするよう文書で強く申し入れをしています。

また、県小中学校PTA連合会でも七月十四日、岩田県教育長に会い、同連合会の役員会の決議に基づき、リジン添加を中止し、九月(二学期)からリジン抜きの給食用パンを配付するよう申し入れました。

リジン抜きは

東京都のみ

これに対し岩田教育長は、「L-リジンの安全性は確認されているが、それでもいやだ」という場合には、リジン入りパンを食べさせる

わけにはいかない。そこでリジン抜き小麦粉の入手を文部省、日本学校給食会に働きかけているわけだが、現段階ではまだ見通しは立っていない。八月中旬をメドに何らかの見通しをつけ報告したい」と答えました。夏休み中には何らかのメドがつくもようです。

日本学校給食会は文部省の承認を受けて、この五月から東京都を除く全道府県に小麦粉にL-リジンを添加したものを供給しており、本県の各学校はその粉をパン工場へ加工してもらい給食に出しています。わが国の小麦粉の供給の状況からしても、本県が独自に小麦粉を確保することは困難であるため、給食会と文部省に打開策を働きかけることになったもので

リジンから

発ガン性物質

リジン添加のはじまりは、四十二年、群馬県で給食パンに添加されたのを皮切りに全国に広がりましたが、これにまず反対したのは東京都で、「東京の子どもたちの栄養は十分で、必要ない」としてリジンの添加を拒否しています。

リジン問題が大きくクローズアップされたのは東大の高橋暁正講師が「添加リジンから発ガン性物



質の三・四ベンツピレンが検出された」と発表してからです。

文部省は

安全性を強調

高橋講師は、埼玉県和光市から給食用パンのリジン分析を依頼され六月九日、分析の結果を発表しました。その結果は、味の素リジンから〇・六三PPbの三・四ベンツピレン(発ガン性物質)を、また協和醸造リジンからは〇・二四PPbの三・四ベンツピレンが検出された、というものです。

給食パンに添加するリジンの発注にあたり、日本学校給食会では味の素など四メーカーと「糖蜜、またはでんぷんを原料とするリジ

ンを使うこと」という契約をかわしています。

同講師は「リジンは、石油タンクの原料ノルマルパラフィンと糖蜜、でんぷんといった自然のものから作られるが、ノルマルパラフィンは〇・八五PPbの三・四ベンツピレンが検出されるのが普通。給食リジンには糖蜜、でんぷんから作られたリジンを使用していると思われていたのに、この分析結果から判断して人体に危険な石油タンク原料ノルマルパラフィンから作られたリジンが添加されているのではないか」といっています。

これに対して文部省は六月十日「リジンの安全性に関する一部の声のために学校給食に対する態度

を軽々に変更することのないよう」との異例の通達を各都道府県

教育委員会の学校給食課長あてに出し、①リジンの原料は糖蜜、またはでんぷんであり、ノルマルパラフィンを使用しているとは絶対に考えられない②高橋暁正東大講師の発表数値には疑問があり、日本学校給食会で再検査を実施させている③三・四ベンツピレンは食品衛生上は通常一PPb以下の検出では問題とされていない——などの理由をあげてリジンの安全性

東 添加でモヤシツ子

食品公害の不安高まる

高知新聞では六月二十九日付の社説で「この際、文部省、県教委はリジン添加をいさぎよく中止すべきだ」と書き、「リジン添加賛成派、推進派の論理は、添加リジンに含まれるベンツピレンの量は少なく、キャベツや果実、茶をはじめ自然食品の中にはそれ以上のベンツピレンを含むものがたくさんある。だからリジンの発ガン性は問題にする必要なし、それよりも給食パンのタンパク質増加の効用を重視すべきだ、というのであろう。しかし全く逆に、自然食品

を強調しています。

また、味の素側では「文部省との契約通り、原料は糖蜜を使っており考えられない話だ。ベンツピレンの検出限界は国立衛生試験所が一PPbと定めているが、うちの検査では多くて〇・〇六PPbしか検出されていない。これは自然界にいくらでもある数字でホウレンソウなんかもつと高い。なぜこんなに数値に差が出たのか、早急に検討するよう指示した」と話しています。

の中にさへベンツピレンが含まれ、それを食べざるを得ないのが現実だからこそ、たとえ微量であっても人工的に添加し、発ガン危険性をそれだけ高めるのはやめるべし、という論理も当然成り立つ。まして強制力を伴う学校給食では、すこしでも「毒性」の疑いがある限り使用はさし控える謙虚さがなくてはなるまい」としています。

また朝日新聞でも「リジンの添加は国民の合意が得られていない。リジン添加の必要性が必ずしも明確でない。食品添加物の使用は

慎重の上にも慎重でなければならぬ」として添加中止の社説を掲載しています。

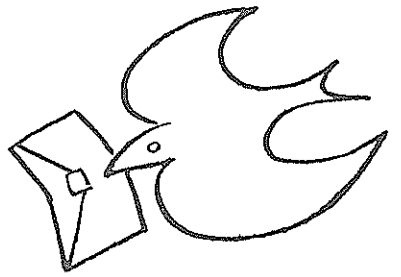
リジン添加で

体力は劣る?

リジン添加の必要性については、牛乳、畜肉などの動物タンパクをとれば、リジンを添加してまで殺菌タンパクを求める必要はないといわれます。現に東京都では、栄養は足りているので改めて給食で取る必要はない。リジン添加パンを与えた調査結果も各県まちまちで、東京都の場合、身長発育は、男女ともリジン群児童が対照群児童にまさったが、体重、胸囲、座高の発育には差がなく、握力発達ではむしろリジン群が劣った。つまりリジン添加によって体力の劣るモヤシツ子ができたということである——」などが拒否の理由となっています。

食品公害といわれる中で私たちは毎日何を食べさせられているかわからないという不安があります。リジン添加のまきおこした波紋は食べ物はできるだけ純粋なものであってほしいという国民の、切実な願望のあらわれだといえるでしょう。

(この資料は高知、朝日新聞の発表にもとずいています。24)



市政への提言

《市政モニター通信から》



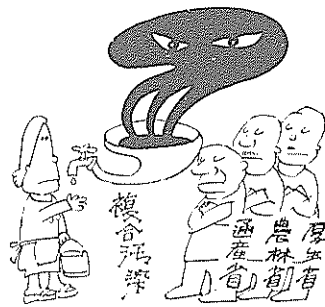
恐ろしい

複合汚染

今、大きな注目を浴びている朝日新聞の小説「複合汚染」を読んでいると、ほんとうに現在の日本はどうなるのだろうかと思いをいだきます。衣食住すべてにわたり、特に食において有吉佐和子氏が全く驚くべきデータと体験をもつて書いておられるのは無条件で敬服せざるをえません。不思議なのは、厚生省も農林省も通産省もすべて無言で、一語の反論もないというところはすべてを肯定しているということでしょうか。

実は私を含めて、この南園地区に、身体のほうがが大変痛む病気の人が多いということです。実は島本病院の整形外科の藤井先生があまりにもこちらのの方にそういう病人が多いように思うので、一度水質検査をしたらという下さっていました。

農業は水源の井戸水へ地下水として浸透してゆくはずで、農薬の中で一番恐ろしいのは除草剤だそうす。有吉さんは農薬の毒は煮ても焼いても濾過してもなくなるやいと断言されました。早急にどうすることもできない現状でしょうけれど、毎日欠かさずのできない問題を第一に考えていたか



空港問題の経過報告を

市政をすすめる上で「空港拡張」

白木谷・八京地区は九月一日から岡豊支所で（戸籍・住民登録事務など）

問題は大変重要なことだと思いません。国の仕事だから、県民のためだからという理由で大切な農地をとられ、また、騒音に悩まされ、犠牲者を出してまで拡張を行うとする国や県に憤りを感じます。

ガソリン税がふえても、観光客が多くても、住みにくい南園市ではあまりに情ないことです。別個に折衝しているなどと聞きますが、地主が売らなければ拡張はできないと言っても、半ば強制的に

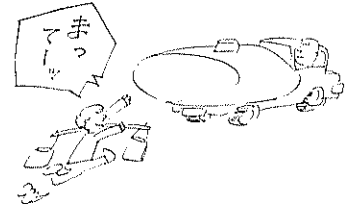
し尿処理について

高知市の方法を参考に

し尿処理について困っている家庭が多い。私もその一人だ。

業者に汲み取りを頼んでから取ってくれるまでに、二週間も三週間もかかる。しかもその間に「早くお願いします」「困っているから早くとってください」と二回も三回も平身低頭で電話連絡してやつのことである。時によくと、肥えがいっぱいになって蓋をつきあげ、うじ虫のわいた糞尿を庭か畑に埋めるしか仕末のしょうがないこともある。業者も多忙のために予約通り取れないこともあろうかとは思いますが、実に困っている。こんな方法はどうかだろうか。

(1)し尿を一括処理してほしい家庭



- (2)家族数に応じては毎日目にとつたらよいかわかるので、くみ取り日をきめて家庭に連絡しておく。
- (3)家族数のほぼ同じ家庭のくみ取りを調査する。

計画的な

収集体制を

私の家に限らず、近所の人々やたくさんの方を耳にいたしますのをお願い致します。

私どもは、だいたい二、三日余りは余裕をもって業者の方に電話いたします。けれどもその時のご返事では、すぐにでも来てくださるよう申ししますが、二日たっても三日たっても来てくれません。また電話をする、二、三日待つ、を二回も三回もくり返さなくてはなりません。あげくのはては、

ねばと思います。

また、黒瀉のし尿処理の問題は大変でしょう。昭和五十年以後は黒瀉へすてられぬことになれば、各自が始末するなんてこと、全く不可能でしょう。役所も困ることばかりでしょうけれど、公園を作るより先の問題とも思ったりします。

パークタウンの構想もたいへんよいと思います。私にはよくわかりませんが、タウンを形成する家の構造は公園地の様な形式でしょうか。もしそういう構造であれば、一階を全部老人ホームにしてあげることがよいと思います。老人は、やはり浮世(うきよ)の中に置いてあげべきで老人を一般社会から切り離さないことです。二階以上を一般家庭の住居にし、若い人たちが、子どもたちの中に置いてあげることです。そうすれば

若い人たちが救われることもあるだろうし老人も楽しみを得られると思います。筆山の老人ホームのように、浮世から隔離されたくないという気持ちが私にはいつもあります。若い人の中に、子どもたちの中に、いきいきと生活している人たちの中に入れてほしいということです。老人ばかり束めておくということ、やはり淋しいことなのです。

人生の終着駅に無事到着できるのは老衰です。これは病気でないので、家庭でみとれるならば、みとってあげるように呼びかけた。病院へ入れられている老人たちの中でいかに家へ帰りたいかという哀れです。しかし、また、インフレの波の中では、家中が働かねばならぬのも実情でしょう。お母さん方の悩みや子どもたちの訴えを聞きますが、学校給食の問題で、育ちゆく子どもに害のないもの(防腐剤、人工甘味料、合成色素、発光剤、その他の添加物)を祈ります。そういうものがないものを食べさせたいと思うのです。(N) (長文でしたが一部割愛させていただきます。)

前を通っている所をつかまえて言ってくれ」との返事でした。いつ通るかわからないものをいつまでも待つわけにはいきませんし、別の業者の方が通りかかっても頼んだ方が来て下さっては気の毒だと思つてやり過ぎ仕事です。台風の後なんかですと、まあ、こんな時だから侵水した所から先に行つてののだろうか、と察しますが、普通だの時間ならどうしてこんなに遅いのだろうかという不満をいいたくなりません。

未組織労働者の

福祉対策

忙しい人たちは、何日の夕方に行きます。と言われれば、その時は家にいて待っています。何日も何日も待ちぼうけさせられたのは文句の一つや二つも言いたくないでしょう。

何とかもう少しスムーズに出来ないものでしょうか。例えば、不燃物収集の時の様に、だいたいこの地区は月の何週目ぐらいに行くとか(この場合だと、少々早いなと思つても、それぞれ考えて取ってもらおう)にしたいと思います。

また、一週間位前までに、どこか一カ所の窓口に申込みをしておいて、その人が毎日毎日の割当をするとか(この方法は業者と市役所の間でどのような取り決めをされているか私は知りませんが)無理かも知れませんが、いすれにしても何らかの方法を考えていた

きたいと思ひます。(H)

市内には数多くの専業、兼業、期節の労働者があり、各種の仕事に就労していますが、わけても建設工事に従事している労働者のほとんどは福祉対策といえれば失業保険と日雇健康保険に加入しているくらいのもので同じ会社で何年働いても厚生年金の制度もなく、また中小企業、退職金制度のあることも知らないのが実情です。組合組織もなくたまたまと、生きるために働くのが精いっぱいこの労働者のために、せめて老後に少しでも多くの年金が貰え、退職時にわずかでも退職金が貰えるという楽しみをもった職場をつくりたいと思ひます。

その対策として、(1)市の発注する建設工事を行う業者だけでも、常用雇用の従業員には厚生年金と退職金共済制度を適用するよう指導してもらい、またこうした制度のあることを広報にとりあげ、関係者の申広い組織の盛り上げをたすけると共に市の行政の中に労働係(仮称)を置き、事業主、労働者が気軽に相談に行ける窓口をもつて、正しい労使のあり方なども指導していただきたい。(Y)

市議会議員選挙 候補予定者の説明会

南国市議会議員選挙候補予定者に対する説明会を次のとおりいたしますので、本人または代理者は必ず出席してください。
■日時・9月2日(火) 午後2時より
■場所・南国市役所四階大会議室 選挙管理委員会

計量器の検査 受けてない人は早急に

50年6月10日～16日までの間、市内北部を対象に50年度の計量器の検査を行いました。商用として使用している計量器は検査を受けなければなりません。受けてない人は、次の場所で早急に受けてください。
高知市棧橋通2-11-15
高知県計量検定所 商工水産課

私の戦争体験記

竹村虎治 (下野田)

焼けつく夏、広島・長崎は三十回目の原爆被災の日を迎えた。が原爆は、いまや人類を全滅させかねないところまでの量が蓄積され核戦争の危険、放射能汚染の恐れは減るところが増す一方だ。この十五日で被爆、終戦三十周年になるうとしている。

昭和十二年から続いた竹村さんの「陣中日記」の一部をここに紹介します。
昭和十二年十月二十九日 晴 於 初陣新屋頭
午前三時半、師団司令部到着。大砲も小銃も機関銃も間近で聞け

発と数を数えながら道を急ぐ……ふと道端にたおれている一等兵の鉄甲がぬけていたので頭紐に血はついていて、いやらしくも貫つてくる。 (略) 正午頃、一先ず部隊本部へ帰らんものと、ものの二、三丁も来た所へ自分を退つてきたような迫撃砲弾が十五、六発後ヘッドカーンと一発落下、無意識の裡に地に伏したが、いやそれより速く後頭部をイヤという程叩きつけられたのだ。と、また一発、ハット我に返り、そつと鉄甲の中へ手を入れて見る、血も出ていない、傷もない、凹んだ鉄甲に感謝を捧げながら三発目の砲弾に立ち上るや破片を拾って一目算……二丁程無我無中走ってほつたため息をついた。 ああ、自分はあやうかりし、この日、この時を永久に忘れることが出来ないだろう。(以下略)

お知らせのページ

焼けつく夏、広島・長崎は三十回目の原爆被災の日を迎えた。が原爆は、いまや人類を全滅させかねないところまでの量が蓄積され核戦争の危険、放射能汚染の恐れは減るところが増す一方だ。この十五日で被爆、終戦三十周年になるうとしている。

市民賞

市民のなかから
推せんしてください

ことし十一月三日文化の日には市民賞の表彰を行います。広く市民のなかからかくれた篤行者を推せんしてください。
▼市民賞の対象は……
本市の市民または市外在住者で本市に關係のあるもの(個人、団体)
産業・教育・文化・政治・社会労働・その他公共の福祉に寄与しその行為がとくにすぐれ、他の模範となるもの、また、とくに功績のあつたものを表彰します。ただし、法令その他の規定により表彰

された事績はのぞきます。
▼市民の推せん……
市民賞は市民の推せんする候補者のなかから、選挙委員会に於て決定します。
▼しめきり……
九月二十日までです。
▼推せん書は……
企画財政課秘書係または各支所まで

シリーズ⑥ 南国市の農業

主要農作物の生産の動向

南国市の野菜作付面積は約六百七十ヘクタール、そのうち三分の一が施設野菜です。施設野菜が現在のように普及するまでは、三和カンラン、岩村のネギなど露地野菜が対外的にも知られ、野菜作の主流を占めていました。しかし、これら露地野菜は生産単位が小さく、価格の変動が激しかったことなどから急速に伸びてきた施設野菜に押され、三十年代後半から最近まで衰退傾向となっていました。近年施設野菜の伸び幅もともに、岩村のネギ、ニラなど露地野菜の比較的安定した需要が見直され復活傾向にあります。施設野菜は遠隔輸送地帯という

ことからほとんど果菜類が中心であり、現在ピーマン・ししとう・なす・きゅうりが四大品目と言われ、この四品目で全体の生産額の八割近くを占めています。本市の施設野菜の栽培は五十年以上の歴史がありますが、急速に発展しはじめたのは昭和二十七年のピーマンの導入からで、当時および三十年代の前半はきゅうり、なす、トマトの生産が主でした。その後加温方法の改良とともに四十年代になると、従来の作目より収益性の高いピーマン、ししとうなどが急速に普及し、中でもピーマンはピーマン一品目で米の生産額をオーバーするようになりました。しか

募集 老人洋上教室

第三回高知県老人洋上教室がある。次のように開かれたい。
▼日程・十月二十一日から二十五日の四泊五日
▼教室の内容(鹿児島県復元) 洋上研修、老人福祉施設見学、交流親善、名所旧跡探訪
▼負担金・一人一万円
▼参加資格・日本国籍で、高知県内に住んでいる六十歳(十月一日現在)以上の人で、団休生活に適應できる健康で協働性の

ある人。なお、すでにこの教室あるいは青年の船に参加したことのある人は除きます。
▼申込み・応募者は申込用紙を九月十三日までに福祉事務所社会係まで提出してください。用紙の請求、おたずねも社会係まで。
なお、推せん人員が十一名です。ので、参加多数の場合は市老人クラブ連合会と協議して選考します。

税金 災害時の救済は

災害にあつたときには税金の面でもいろいろな救済の手段が設けられています。
▼所得税の場合にも次のような減免方法があります。
▼災害や盗難または横領によつて生活に通常必要な、住宅、家財、現金などの資産に損害を受けた、その損害額がその年の合計所得金額の十分の一を超えるときは、その超えた部分の金額を合計所得金額から控除します。
▼災害によつて住宅や家財について、その価額の二分の一以上の損害を受け、しかもその年の所得金額が四百万円以下の場合、合計所得金額に於いて、所得税額を免除したり軽減します。(合計所得金額が二百万円以下の場合には金額免除、二百万円以上三百万円以下の場合には二分の一の軽減、三百万円以上四百万円以下の場合には四分の一の軽減)
▼手続
災害を受けた人は、翌年三月確定申告書を提出して、推し控除による方法か、災害減免法による方法かのどちらか有利な方法を選択することができます。サラリーマンの場合には、源泉所得税の徴取猶予の方法もありますので、災害にあつた場合には遠慮なく税務署へおたずねください。

南国税務署

募集 税の作文募集

税務署では高橋生のみなさんから、税の作文を募集しています。日ごろ考えていることや意見など、税に関するものであればなんでも結構です。ふるって応募ください。
▼応募資格・高校生であればだれでも応募できます。
▼試験 国家公務員採用・中級試験
▼募集期間・八月二十二日～九月十一日まで
▼受験資格・昭和二十七年四月二日～三十三年四月一日生まれの男子
▼第一次試験・十月十九日(日) 高松市で
▼第二次試験・十月二十一日(日) 高松市、松山市で
▼申込用紙請求または問合せ先は、〒760 高松市松島町一丁目十七番の三三 人事院四国事務局 電話〇八七八一三二一四七六五

試験 国家公務員採用・中級試験

募集 税の作文募集
税務署では高橋生のみなさんから、税の作文を募集しています。日ごろ考えていることや意見など、税に関するものであればなんでも結構です。ふるって応募ください。
▼応募資格・高校生であればだれでも応募できます。
▼試験 国家公務員採用・中級試験
▼募集期間・八月二十二日～九月十一日まで
▼受験資格・昭和二十七年四月二日～三十三年四月一日生まれの男子
▼第一次試験・十月十九日(日) 高松市で
▼第二次試験・十月二十一日(日) 高松市、松山市で
▼申込用紙請求または問合せ先は、〒760 高松市松島町一丁目十七番の三三 人事院四国事務局 電話〇八七八一三二一四七六五

保険 住宅融資保険について

住宅ローンを借りやすくするために住宅金融公庫は住宅融資保険を行っています。
この保険は、みなさんが民間の金融機関から資金を借りて住宅を建設、または購入された後で、万一ローンの返済ができなくなったときに、公庫が代つて返済し、金融機関が安心して住宅ローンを貸出せるようにしよ

8月は県市民税納付月です

日	一般・衛生行事	日	一般・衛生行事
21(木)	不燃物の収集(陣山、三島、上末松、下末松、西山、上甘枝、西島、吉市)	⑨(日)	休日在宅医・北村病院(後免) 4-2101
22(金)	不燃物の収集(植野、領石)	1(月)	不燃物の収集(十市)
23(土)	不燃物の収集(瓶岩、上倉)	2(火)	不燃物の収集(里改田、片山)
⑩(日)	休日在宅医・吉川医院(植田) 2-0100	3(水)	不燃物の収集(浜改田)
25(月)	不燃物の収集(国府、岩)	4(木)	不燃物の収集・前浜(下島里、下島浜、久枝を含む)
26(火)	長岡東部乳児検診・1.30~2.30 東部公民館(2ヵ月~1年) 文化財講座(土佐の方言について)・1.30~3.30 市役所大会議室 不燃物の収集(笠ノ川、八幡、小蓮、定林寺、滝本、蒲原)	5(金)	不燃物の収集(立田)
27(水)	不燃物の収集(中島町、中島沖、三島、吉田、常通寺島江村、小笠)	6(土)	不燃物の収集(田村)
28(木)	不燃物の収集(植田、久礼田)	⑪(日)	休日在宅医・川村胃腸病院(立田) 4-2707
29(金)	日章乳児検診・1.30~2.30 日章保健婦室(2ヵ月~12ヵ月)	8(月)	不用犬の質上げ・9.30~10.00 市水道局前 不燃物の収集(物部)
30(土)		9(火)	不燃物の収集(稲生)
		10(水)	不燃物の収集(能間、野田口、城陸、朝日町)

7月の交通事故

	件数	死者	傷者
7月の事故	13件	0人	17人
今年の7月	17件	0人	25人
ことしの累計	153件	4人	227人

交通事故は110番へ

火災と救急

	火災件数	被害額	救急件数
7月の件数	1件	0円	68件
今年の7月	0件	0円	52件
ことしの累計	22件	2,861万円	322件

火災と救急は119番へ